

日本現代中国学会関東部会 2025 年度定例研究会

2026 年は文化大革命終結・毛沢東死去から 50 年となる節目の年です。

日本現代中国学会では 2026 年度全国学術大会にて、毛沢東没後 50 周年をテーマとした共通論題を準備中です。そこで本年度の関東部会定例研究会では、最近毛沢東時代を対象としたご著書を上梓された高橋伸夫氏・高曉彦氏のお二方をお招きし、ご著書の内容のエッセンスを語っていただき、角崎信也氏からコメントをいただきます。指導者レベルの動向、基層の民兵の実態と、様々な角度から毛沢東時期について考える機会にしたいと思います。

日時：2026 年 2 月 28 日（土）14:50-17:30

場所：國立館大学世田谷キャンパス メイプル・センチュリー・ホール 5 階第 1 会議室

（小田急小田原線 梅ヶ丘 徒歩 9 分、東急世田谷線 松陰神社前駅 徒歩 6 分）

参照：<https://www.kokushikan.ac.jp/information/campus/setagaya/>

テーマ：毛沢東時代を考える—最近の 2 冊の著作から

14:30 開場

14:50～15:00 開会の辞、趣旨説明

15:00～15:30 高橋 伸夫（慶應義塾大学）

「著書『構想なき革命—毛沢東と文化大革命の起源』について」

15:30～16:00 高 晓彦（東北大学）

「著書『毛沢東時代の統治と民兵』について」

16:00～16:30 コメント 角崎信也（一般財団法人霞山会）

16:40～16:50 報告者からの応答

16:50～17:30 質疑応答

司会 河野 正（國立館大学）

*懇親会を予定しています。会場・会費等は未定、当日決める予定です。

